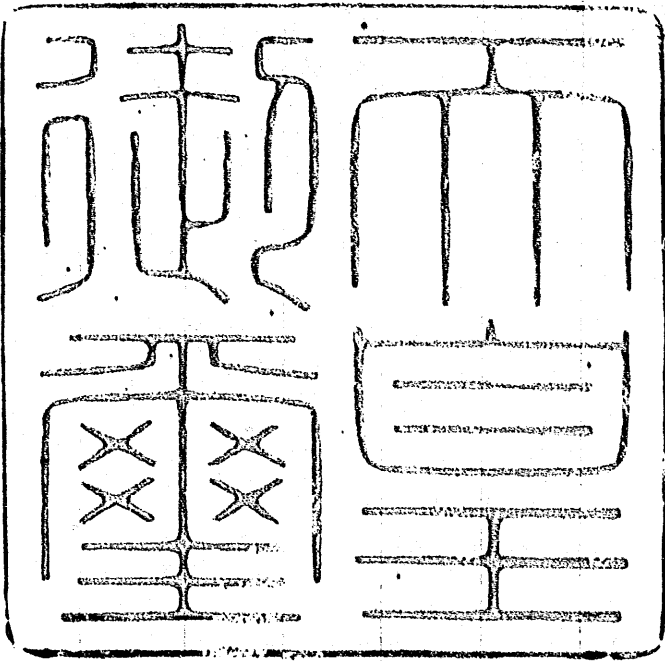


勅令第二百七号

朕臨時軍用氣球研究會官制ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

陸仁



明治四十二年七月三十日

月

内閣總理大臣侯爵桂 大 臣
陸軍大臣子爵寺 田 正 毅
海軍大臣男爵齋 藤 實

勅令第二百七號

臨時軍用氣球研究會官制

第一條 臨時軍用氣球研究會ハ陸軍大

臣及海軍大臣ノ監督ニ属シ氣球及飛

行機ニ関スル諸般ノ研究ヲ行フ

第二條 臨時軍用氣球研究會ハ會長一

人委員二十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

會長ハ本職アル陸軍將官委員ハ左ニ

列記スル者ノ中ヨリ之ヲ命ス

本職アル陸海軍佐尉官及海軍機関

佐尉官

佐尉官相當官タル本職アル海軍造
船造兵官

陸海軍技師

帝國大學教授及助教授

中央氣象臺技師

氣球及飛行機ニ關スル學術ニ堪能

ナル者

第三條 會長及委員ハ陸軍大臣ノ奏請

ニ依リ内閣ニ於テ之ヲ命ス

第四條 會長ハ會務ヲ總理シ議事ヲ整

理シ會ノ研究決定シタル事項ヲ陸軍

大臣及海軍大臣ニ報告ス

會長故障アルトキハ陸軍大臣ノ指名

シタル委員其ノ事務ヲ代理ス

第五條 臨時軍用氣球研究會ニ幹事一

人ヲ置ク陸軍佐尉官タル委員ノ中ヨ

リ會長之ヲ命ス

幹事ハ會長ノ命ヲ承ケ庶務ヲ整理ス

第六條 臨時軍用氣球研究會ハ豫メ研

究方針ヲ定メ陸軍大臣及海軍大臣ノ
認可ヲ受クヘシ

第七條 臨時軍用氣球研究會ハ氣球隊
長ノ承認ヲ受ケ氣球隊ニ屬スル諸材
料ヲ使用スルコトヲ得

第八條 委員ニハ手當ヲ給スルコトヲ
得

第九條 臨時軍用氣球研究會ニ書記三
人以内ヲ置キ陸軍屬ヲ以テ之ニ充ツ
書記ハ會長及幹事ノ命ヲ承ケ事務ニ

服ス

第十條 委員ニハ鐵道會議議長議員及
臨時議員旅費支給規則ノ例ニ依リ旅
費ヲ給シ其ノ會議ノ爲特ニ上京シタ
ル者ニハ開會中三圓以内ノ日當ヲ給
ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス